



# 消防大学校だより

## 消防大学校新任消防長・学校長科における教育訓練

消防大学校では、消防吏員として消防業務に従事した経験のない新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させることを目的に「新任消防長・学校長科」を設置しています。

令和5年度の「新任消防長・学校長科（第33期）」は、5月9日（火）～5月19日（金）の11日間に及ぶ全寮制での集合研修を受け、42名が無事卒業しました。

研修では、前田消防庁長官による講話を始め、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、各人が抱える課題等についての討議、及び消防人として必須である消防訓練礼式等を受講し、消防組織のトップとしての職責を認識するとともに、消防職の心構えについて積極的に学びました。



訓練礼式

また、実科では実火災体験型訓練（ホットトレーニング）の見学や、防火衣及び空気呼吸器の装着体験を行い、消防職員の過酷な環境での現場活動の実態を理解しました。大規模地震時における常備消防と消防団との連携を想定した指揮シミュレーション訓練では、指揮者の状況判断の難しさや、各機関との連携の重要性について理解を深めました。

さらに、危機管理広報では、組織内で不祥事が起きた際の報道対応の実習を行い、危機事案発生時の適切な広報技術の向上を図ることができました。



実火災体験型訓練の見学

研修を終えた学生からは、「座学と実技とバランスよく学ぶことができた。特に座学は、消防長や学校長といったトップとしての必要な事柄を、限られた時間の中で配慮いただいた。」「同じ境遇の職員同士が集まる機会は貴重でかつ有益である。様々な場面で意見交換等を行うことができ非常に良かった。」「漠然と捉えていた消防行政を取り巻く状況や現場指揮などについて、講義、シミュレーションや視察（消防庁）を通して体験できたことは、今後活かせる内容であり、想定以上に有意義な研修だった。」「人命救助、殉職事案等、特有な消防職場環境について、新任消防長の立場から、お互いの所属の課題や不安に思う課題など、入り口部分を共有することができた。」など、教育科目全般及び学生相互の交流を含め、有益であったと評価する意見が多数寄せられました。



指揮シミュレーション訓練

今後は、一般行政職員の幹部としての経験や知識に加え、「新任消防長・学校長科」で習得した知識等をいかして、各組織のトップとして住民の安全・安心に貢献し、大いに活躍されることを期待いたします。



# 消防大学校だより

## 危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コースにおける教育訓練

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対する研修課程として、その業務に必要な行政動向等の知識及び能力を修得させることを目的に「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

令和5年度の危機管理・国民保護コース（第13回）では、学生44名が、消防大学校での8日間（令和5年5月11日～18日）の全寮制の集合教育を終え、全員が無事に修了しました。

研修では、消防庁担当者による国民保護法制の概要・ケーススタディ、専門家による危機管理の概論・図上訓練手法・報道対応、実災害を体験された職員による実務の紹介、内閣府（防災担当）による安否不明者の氏名等の公表など、各分野の講義を実施し、危機管理担当者の業務に必要な知識及び能力の修得に努めました。



講義風景

危機管理広報・報道対応演習では、有事の際、地域住民に対する迅速かつ正確な情報を発信するために、その知識や手法を学び、模擬的な報道演習を実施しました。

課題討議では、近年の不安定な国際情勢及び大規模化する自然災害等のテーマについて、各班で討議し、その討議結果を発表しました。各自治体が直面している問題点・課題を共有し、課題解決に向けての対策・取組など、活発な意見交換が行われました。



危機管理広報・報道対応演習

研修を終えた学生からは、「制度的な知識を得られ、実際の災害対応をされた方々の貴重な体験を教えて頂けた。また、課題討議の中で市役所や消防における課題について知ることができ、有益でした。」「グループワーク等を通じて、各自治体の現状、取組みが共有できた。」「消防のみならず、行政職、自衛官、警察官の方が集い、意見交換を行えるととてもいい場であった。」等の意見が多く寄せられました。



課題討議（発表）

今後は、消防大学校での気づきと学び、共同生活で培った各自治体のネットワークを活かして、各自治体の課題解決及び事業を推進していく先駆者として、活躍が期待されます。

**「実践実践また実践 挑戦挑戦また挑戦 修練修練また修練  
やってやれないことはない やらずにできるわけがない 今  
やらずしていつできる わしがやらねばだれがやる」**

### 問合せ先

消防大学校教務部  
TEL 0422-46-1712